

年頭所感

末長一範代表の2022年の想いをお伺いしました。

あけましておめでとうございます。

昨年は、コロナウイルス感染拡大により分散型のビジネススタイルが浸透し、人と繋がることの重要性が再認識された1年だったように感じております。また、環境問題など世界が直面している課題に対して、次の世代へどうやって夢や希望を繋いでいけばいいのかを改めて考える年となりました。

さて、昨年の年頭所感では、人財交流によるグループナレッジの共有を推進することを述べ、この1年間で複数のグループセッションを立ち上げることができました。少しずつですが、グループ各社の協力や連携が進み、グループとしての一体感やシナジーが生まれてきたように感じております。

今年はさらにグループ間の交流を加速させたいと考えています。例えば、同年代の交流会やグループ間の戦略的な人財交流です。新たな知見を取り入れ組織を活性化し、多様性を尊重する企業文化・グループ風土を作っていききたいと思います。

現代は、思考の移り変わりや変化が激しく、正解のわからない時代です。これまでの成功体験や先入観ではなく、自由な発想で物を考え、仕事を進めていく必要があります。しかし、誰もが長年染み込んだ習慣や意識を変えるのは簡単ではありません。その為には、失敗を恐れずに挑戦することを称え、多様な価値観を認め合う企業風土が必要です。風通しの良いグループ風土を共に築きましょう。

グループ1,600名が協調し、地域課題の解決と社会的責任を果たすことを念頭に、私たちの手で明るい未来へ夢と希望を繋ぎたいと思います。

2022年が明るく、皆様にとって希望の持てる1年になることを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

代表 末長 一範

